

充電インフラ補助金 予備分制度の申請状況について

- 限られた予算で効果的に充電器の整備を進めていく観点から、①募集対象を限定しつつ、②費用対効果の高い案件等(kW当たり補助金申請額(円/kW)の低いもの)から受付案件を決定する仕組みを導入。
- 8～9月にかけて申請受付を実施。順次審査を行い、11月中旬以降に交付決定を行う予定。

①申請金額・申請件数

区分	配分額	申請金額	申請件数
急速	5億円	3.75億円	48件
普通（基礎）	6億円* *執行残含め9億円分を募集	20.3億円	1,052件
普通（目的地）	19億円	33.9億円	2,212件
合計	30億円* *執行残含め33億円分を募集	約58億円	3,312件

※その他、申請取り下げや審査による減額等により生じた執行残も活用

②平均kW当たり補助金申請額

- ✓ 申請案件全体のkW当たり補助金申請額の平均値を、当初の募集分（145億円）と比較すると、
- | | | | |
|--------------------------|--------------|------------------|-------------|
| ・ <u>基礎</u> ：約18万円/kW | → 約15万円/kW | ⇒ <u>約3万円/kW</u> | } の低下が見られた。 |
| ・ <u>目的地</u> ：約18.5万円/kW | → 約14.5万円/kW | ⇒ <u>約4万円/kW</u> | |

③事務局の審査状況及び今後の見通し

- ✓ 現在、事務局において、kW当たり補助金申請額の低い案件から申請内容の確認・審査を行い、11月中旬以降に順次交付決定を行う予定。
(9月末時点で、kW当たり補助金申請額が高く、最終的な採択が難しい案件については取消を連絡済み。)